中国文化あれこれ

芥川龍之介の名作「杜子春」と、中国の原作「杜子春伝」のちがいについて、日本と中国の考え方のちがいに触れながらご講義いただきました。

講師は津山工業高等専門学校の杉山 明先生。最後の質疑応答は大盛り上がりで、干支の話から留学生事情まで、あっという間の90分でした。

杉山先生の著書は、市立図書館でも借りられます。ぜひご一読ください。

～参加者の声～

- いちばん近くて遠い国というイメージのある「中国」について楽しく、わかりやすく聞けた。
- 当時の人の考え方がわかり、日本人との考え方との比較ができておもしろかった。
- 杉山先生の話はいつも楽しいです。中国の慣例など、多くの情報を得ることができ最高です。
- テレビなどでは聞くことができない、生の情報が知れておもしろかったです。